

かけはし

平成30年11月(第8号)

公益財団法人 豊島修練会

事務局：成美教育文化会館(内)

TEL:042-471-6600 FAX:042-471-6600

HP「成美教育文化会館」で検索]

きみはきみ、われはわれなり・・・

武者小路實篤(むしゃのこうじさねあつ)の名言に「君は君、我は我也、されど仲よき」があります。「君は君でいいのだよ。私は私でいいのさ。お互いに尊重し合っていれば、仲良くできるよ」「君は君らしく生きていけばいいのさ。私も私らしく生きるよ。お互いがわかり合い尊重していれば、なかよくできるよ。」という意味のようです。

また、松下幸之助は、「素直な心になったならば、いらざる対立や争いがおこりにくくなって、和やかな姿が保たれるようになる」と、人と意見が違って、互いに、素直にそれを理解し受け止め、話し合ったら、無用の対立や争い(けんかや戦争など)がなくなるという意味だそうです。

我が子が友達とけんかをしたとき、武者小路実篤と松下幸之助の言葉は、結構つかえますよ。「あなたはどう思っているの?」、けんかした「友達はどう考えているのかな?」、「二人の考えは違っているけど、違っていてもいいんじゃないの?」、「もし、まずいところがあるとすれば、どこなの?」、「もう少し話し合ってごらんなさい!」と。

さらに、金子みすゞは「私と小鳥と鈴と」で、「わたしが両手を広げてもお空はちよつとも飛べないが、飛べる小鳥はわたしのようにな地べたをはやくは走れない、わたしがからだをゆすってもきれいな音は出ないけどあの鳴る鈴はわたしのようになたくさんな歌は知らないよ、鈴と小鳥とそれから私みんな違ってみんないい」と、詩で「他と異なることは個性で素晴らしいことだ」と表現しています。

そして、まどみちおは、「ちがっても仲良くしようではなく、ちがうから仲良くしよう」と、考え方や趣味などが異なっているからこそ仲良くしてお互いに楽しむようにしようと言っています。もちろん、考え方や趣味などの同じ人が仲良くするのもいいことですし楽しいものです。一番やめてほしいのは、考え方や趣味などが違うからと言って、仲間外れにしたり、攻撃したりすることで、これは「いじめ」です。(BOKE 三宅)

<備考> [成美教育文化会館]で検索すると、「かけはし」「メッセージ」「Q&A」「ほん本ブック」をはじめ「一字荘」「至楽荘」「成美教育文化会館の会場貸出」など様々な情報が閲覧できます。一度、覗いてみてください。






活動紹介!

グループ 菫

グループ菫は、20年前、この会館が出来た当時から続く歴史ある絵画サークルです。指導される北原宏太郎先生ほか、現在、10名程のメンバーが、油彩、水彩、アクリル画などの制作に取り組んでいます。2年に1度、それぞれが描きためた作品の中から4点選び、本館ギャラリーで美術展を開催しています。写真は、先月開かれた会の様子です。右下の写真は、本館入口に掲げてある絵ですが、これは、北原先生が制作されたものです。



11月の催しから

- ~11月3日(土)
多摩北部5市美術家展
- 9日(金)14時~
多摩地域巡回上映ツアー
- 10日(土)10時~
ライター響会演奏会 
- 11(日)13時30分~
「いま、私たちに必要な図書館は」
- 18(日)10時~
江差追分関東地区大会
- 17(土)13時~
「ピアノでコンサート」
- 21(日)13時30分~
るんるんスカフェ in 東くるめ
- 23(金)10時~
新日本民謡発表会 
- 23(金)13時20分~
オカリナの集い
- 24(土)17時30分~
ミュージカルコンサート
- 25(日)13時30分~
楽茶会「茶会の取り合わせ」
- 29(木)14時~
稲門会・成美教育文化会館共催映画会 

会館事務室から



今月の話題一霜

11月は、霜月とも呼ばれます。諸説ありますが、霜降月を略したことからというのが有力だそうです。11月に霜はまだ早い気もしますが、もともとは、旧暦の11月(新暦の11月下旬から1月上旬)を霜月と呼んだそうなので、なるほどというところです。

ところで、厳冬期には霜柱がみられます。霜と霜柱、似ているようで、その出来方には、違いがあります。霜は、0℃以下に冷えたものの表面に空気中の水蒸気が固体化(凝結)して氷の結晶として積もったもの。「霜が降りる」「霜が降る」という言い方があります。一方、霜柱は氷点下の時に地中の水分が毛細管現象によって地表に染み出して柱状に凍結したものです。まだ少し早いですけどどちらも厳しい冬の寒さを思わせる自然現象です。

初霜に負けて倒れし菊の花(子規)



